



一般財団法人 大原記念財団 平成 30 年新年会・新病院棟完成祝賀会を開催しました

平成 30 年 2 月 9 日 (金) サンパレス福島において、「平成 30 年新年会・新病院棟完成祝賀会」を開催しました。

祝賀会では、新病院棟開院へ向け、中心的役割を担い尽力した合計 12 グループ WG・委員会への表彰式が行われた後、祝宴に移り、懇親会半ばには、職員によるバンド演奏・合唱が行われ、大いに盛り上がりました。



Information

平成 30 年 2 月 2 日 (金)、小児病棟・NICUにて節分イベントが開催されました。子ども達や付き添いのママ達は、鬼のお面や、大きな豆を作って鬼がやってくるのに備えていました。初めは怖がっていた子ども達も、最後は鬼さんと仲良く握手をし、プレゼントを貰ってニコリしていました。中には、「鬼は先生(医師)だあ〜！」と見破る子や、純粋な瞳で見つめる子もいました。来年も患者さま、ご家族に喜んでいただけるよう、取り組んでまいります。



平成 30 年 2 月 16 日 (金)、こどもセンターわくわくルームにてお楽しみ会が開催されました。今回は、「福島大学ジャグリングサークル」の皆さんにお越しいただき、ピンやボール、箱を使ったジャグリングを披露していただきました。その後、かわいいキャラクターのバルーンアートをプレゼントしていただき、子どもたちはもちろん、パパもママも釘づけでした。



ふたり主治医制についてのご案内

当院では、患者さんに「大原総合病院としての主治医」及び「かかりつけ医での主治医」の『ふたり主治医制』をご案内しております。

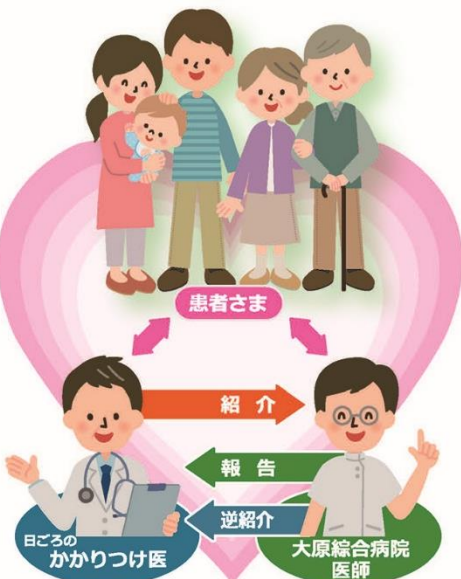
患者さんには、病院とかかりつけ医の役割について、下記パンフレットを用いて説明しております。これにより、地域包括ケアを推進しながら住み慣れた地域で患者さんが安心して暮らせるよう推進して参ります。

<ふたり主治医制とは>

ご登録医（かかりつけ医）の先生方と当院の医師とが互いに連携しながら、継続的に治療を行うことです。患者さんには、普段の通院ではかかりつけ医の先生に診療をしていただき、その中で入院や専門の治療及び検査が必要と判断された場合は、ご登録医の先生方からの紹介にて、当院を受診していただきます。この連携により、不要な検査や投薬を減らすことができ、患者さんの状態に合わせ、適切な治療を提供することに期待ができます。

地域医療との連携

「地域医療支援病院」である大原総合病院では、国や福島県の政策に基づき、地域の「かかりつけ医」との役割分担を明確にし、協力しあって質の高い医療を提供できるよう努めています。



※医療連携（病診連携・在宅医療）は、厚生労働省が推進しています。

かかりつけ医について

- 1 日ごろの健康管理（予防・治療）をおこなっていただく、地域の身近なお医者さんです。
- 2 気になることがあったら、まず「かかりつけ医」に相談しましょう
- 3 病状に応じて、適切な医療機関を紹介します。

最新情報・最新設備
「かかりつけ医」に
「かかりつけ医」に
「かかりつけ医」に



かかりつけ医 大原総合病院 医師

大原総合病院の役割

- 1 総合病院として先進医療の推進、高度治療を提供します。
- 2 専門的な診察・検査・手術などの治療を行います。
- 3 「かかりつけ医」と患者さまの診療情報を共有し、安心で開かれた医療を提供します。

大原記念財団の理念 人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一步先に行く医療を探し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。

制作 大原総合病院 地域連携相談室
発行者 一般財団法人大原記念財団
理事長 平子 健
電話 024(526)0371 ダイヤルイン
FAX 024(526)0935
代表 024(526)0300 内線(1157)
住所 福島市上町 6 番 1 号